

～高丸山の森づくり情報～

遊学の森便り



第 213 号
250306

2月の遊学の森のようす



2月下旬の高丸山です。今月は雪がよく降り、積もりました。暖かい日があっても、影には残ります。



木々の枝先が、赤く色づき始めています。雪があっても春が近づいているなあと思います。



雪の上には、動物たちの足跡が多数。どっちに向かって歩いているのか、たどると面白いです。



足跡をよく見ると、爪の形までくっきり見えました。キツネかな、タヌキかな。



モミの枝先がたくさん折られていました。動物に食べられたようです。何者がやったのか…。



モミの近くにスズタケが生えていましたが、シカに食べられていました。モミもシカが犯人かな。

■森づくり活動など報告

●活動期間 2月1日～28日

区画管理	日付	被害箇所	内容
獣害被害防除 ネット修復	2月14日	26か所	森づくり区画の外周を囲うネットの見回りと、被害報告です。今月は雪のため、なかなか山に行くことができませんでした。1回だけ見回りできたのですが、被害件数が26箇所という結果。すべてネットの噛み切りでした。見回りスタッフも「これまでで一番の被害数」と驚いていました。来月は少ないことを願っています。

■トピックス

●2月の遊学の森で見たもの

先月に続き、遊学の森の冬芽の紹介と、森の中で見つけたものです。植物をグループ分けする中で、○○科とよく使われます。例えばイネ科とか、バラ科などです。写真上段は遊学の森で見られるクスノキ科の冬芽ですが、おなじグループでも、それぞれ形や花芽の形が違うんだなあと感心しました。中段は筆のような形、ひづめのような形のものがありました。冬芽も多様です。下段は、「おや?」と思ったものです。冬の森も雪以外にいろいろ見どころがありますね。



クロモジの冬芽はとがっています



今春のシロモジは花がたくさん咲きそう



カナクギノキは花と葉が少し離れぎみ



リョウブの冬芽は太筆のようです



トチノキの冬芽は、ねばねばしています



シカの爪?いいエコハウチワカエデです



殺鳥事件!?羽が散らばっていました



昨年秋のキノコ。触ると胞子が出ました



白さが目立つ、カワラタケ状のキノコ

徳島県立高丸山 千年の森ふれあい館 (指定管理者: 一般社団法人かみかつ里山倶楽部)

〒771-4502 上勝町旭中村 66-1 TEL: 0885-44-6680 E-mail: sennennomori@kkcatv.jp

※本紙は、千年の森 HP にフルカラーでアップしています <http://www.1000nen.biz-awa.jp>